

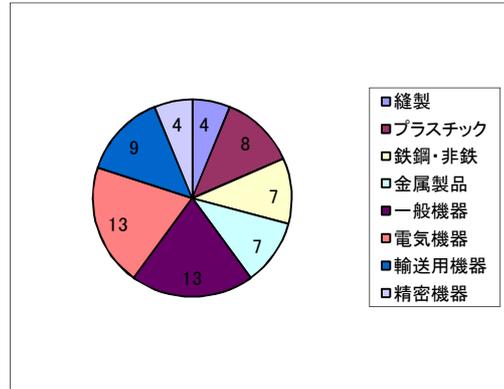
発注動向

-2012.2-

- 調査時点 平成24年1月調査(平成23年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 65社(回答率:43.3%)

<業種内訳>

縫製	4	6.6%
プラスチック	8	13.1%
鉄鋼・非鉄	7	11.5%
金属製品	7	11.5%
一般機器	13	21.3%
電気機器	13	21.3%
輸送用機器	9	14.8%
精密機器	4	6.6%



■ 全業種総合

全ての項目で、前回よりも悪化となった。

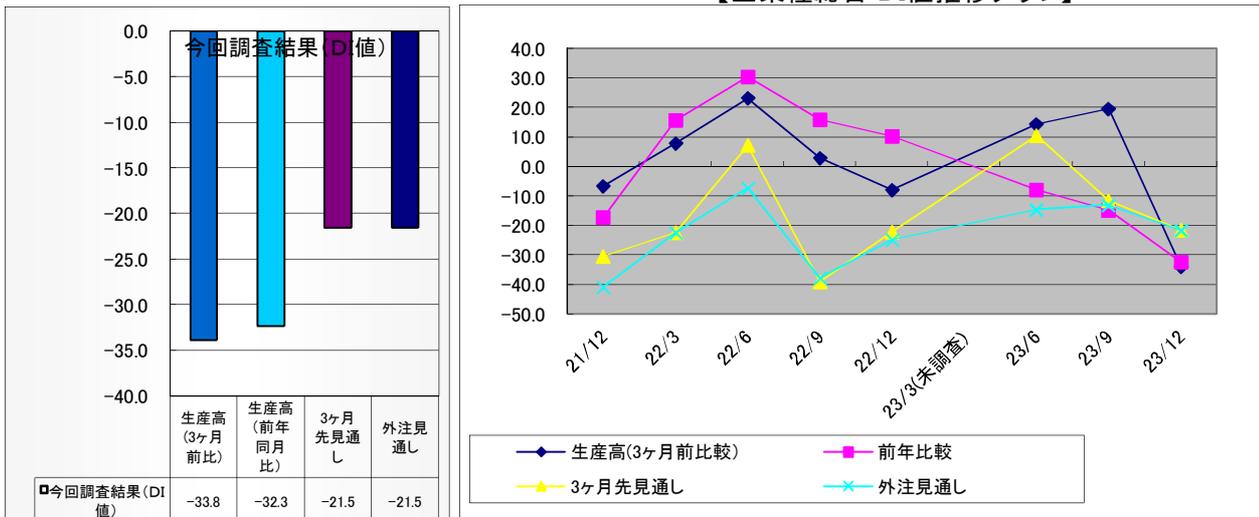
「生産高(3ヶ月前比較)」は、▲33.8(前回19.7)で、前回までの良化傾向から一転して、53.5ポイントの大幅悪化となった。

また、「生産高(前年比較)」でも、▲32.3(前回▲14.8)で17.5ポイントの悪化となった。

「3ヶ月先見通し」は、▲21.5(前回▲11.5)で10.0ポイント、「外注見通し」は▲21.5(前回▲13.1)で8.4ポイントの悪化となった。

依然続く円高やタイの洪水、欧州債務問題の影響による生産活動の悪化が顕著に表れた結果となった。

【全業種総合 DI値推移グラフ】



■ 生産高(前年同月との比較)

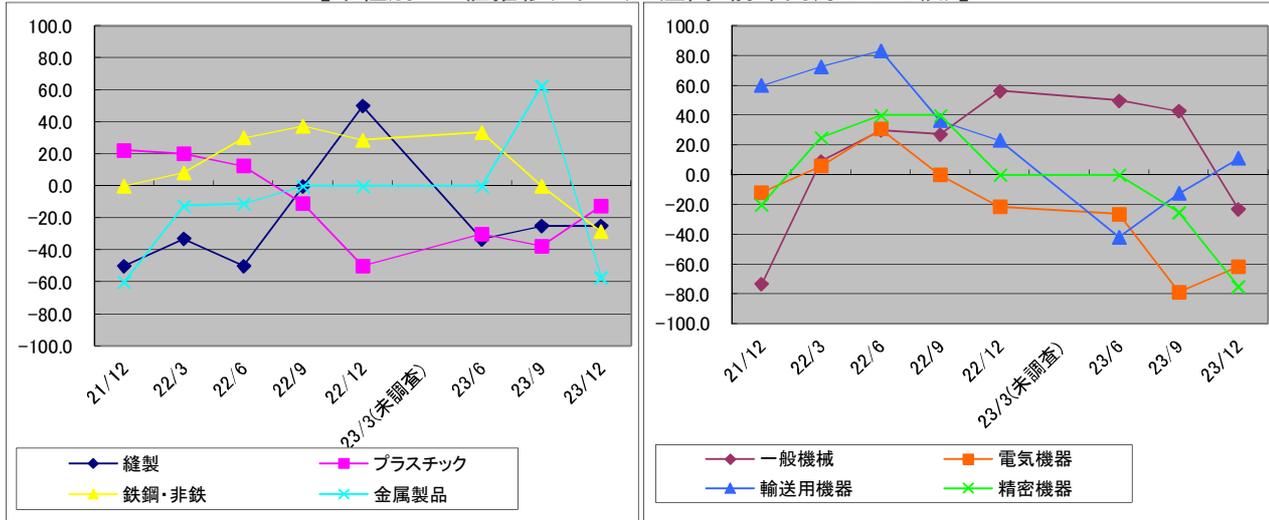
「金属製品」、「一般機械」、「精密機器」で大幅に悪化となった。

「金属製品」は▲57.1(前回62.5)で119.6ポイントの大幅悪化となり、「一般機械」▲23.1(前回42.9)、「精密機器」▲75.0(前回▲25.0)でも50ポイントを超える悪化となった。

また、「プラスチック」は▲12.5(前回▲37.5)、「電気機器」は▲61.5(前回78.6)と前回よりは改善を示すも、依然マイナスDI値で厳しい数値を示している。

また、「輸送用機器」は11.1(前回▲12.5)で23.6ポイントの改善となり、唯一プラスのDI値を示した。

【業種別 DI値推移グラフ(生産高/前年同月との比較)】



■ 業況3ヶ月先見通し

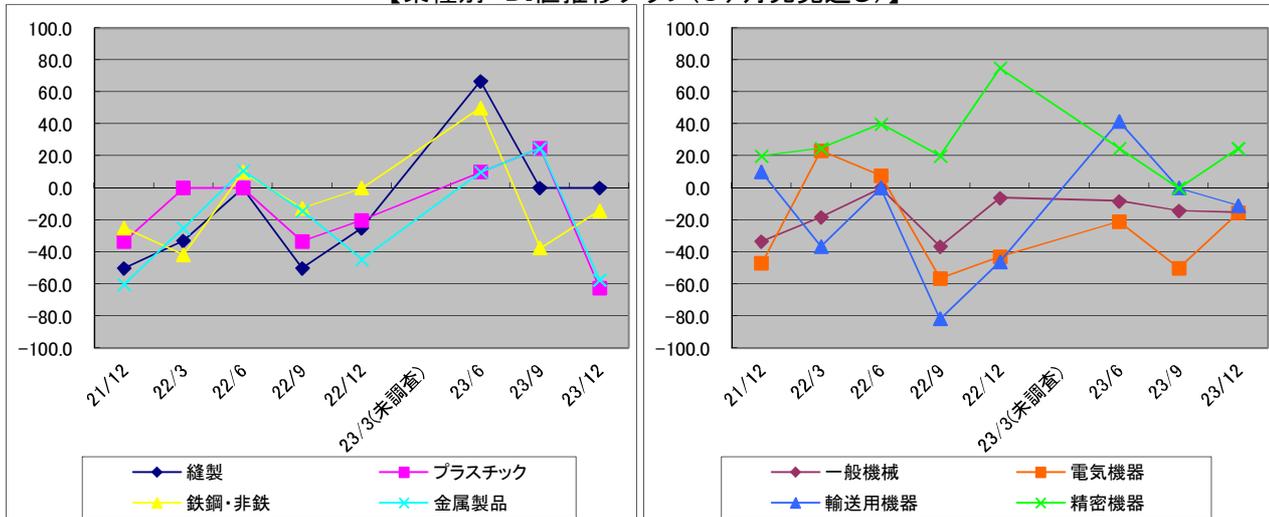
「プラスチック」、「金属製品」で大幅な悪化となった。

「プラスチック」は▲62.5(前回25.0)、「金属製品」は▲57.1(前回25.0)で、ともに80ポイントを超える大幅悪化となった。

また、「鉄鋼・非鉄」、「電気機器」は改善となったが、依然マイナスのDI値で推移している。

唯一、「精密機器」は25.0(前回0.0)で改善し、プラスのDI値となった。

【業種別 DI値推移グラフ(3ヶ月先見通し)】



■ 外注見通し

「プラスチック」、「金属製品」で大幅悪化となった。

「金属製品」で▲57.1(前回12.5)、「プラスチック」は▲37.5(前回25.0)で、60.0ポイント超の大幅悪化となった。

電気機器は▲15.4(前回▲57.1)で41.7ポイントの大幅改善となるも、依然マイナスDI値で推移している。

また、「鉄鋼・非鉄」0.0で0.0(前回▲25.0)、「縫製」で0.0(前回▲25.0)で、ともに25.0ポイントの改善となった。

【業種別 DI値推移グラフ(外注見通し)】

